

部署越え革新創出を

商品開発や他社と連携

ハルナG 高崎に新センター



センター内で清涼飲料水の製造過程の説明を聞く関係者

清涼飲料水メーカーのハルナグループ(高崎市足門町)は10日、同所のハルナビバレッジ群馬本社近くに

建設し今月稼働した「ハルナイノベーションセンター」の関係者向け内覧会を開いた。同センターは、部

署の垣根を越えた人員を配置し、商品の研究開発をはじめ、他社と連携した新たなイノベーションの創出を狙う。同グループを消費者に知ってもらうための見学も受け入れる。

センターは木造2階建てで延べ床面積1497平方メートル。1階では同社の歴史や清涼飲料水の製造過程の紹介、飲料水のラベル作りが体験できる。カフェテリアを設け、交流できる場とする。飲料の新商品開発に加え、新たに食品分野の展開を視野に試作する機械を導入するなど、研究開発スベ

ースを充実させた。2階はオフィススペース。製造、購買、商品開発、財務、人事といった幅広い部署から50人前後が働く。座席を自由化し、他部署が同じ空間で意見交換できる環境をつくる。

地域の憩いの場として来年4月から予約制でセンターの見学を受け入れる予定。青木麻生CEOは「地域社会と交流し一緒にものづくりする共創の場にしたい。自由な空間でコミュニケーションを活性化し、スピード感を持った開発で今までにない商品を生み出していきたい」と展望した。

同グループの2024年9月中間連結決算は、売上高194億5千万円で中間期として過去最高を記録している。(林哲也)